

7月20日は中小企業の日 2
 AIカメラで人流計測 3
 道路が遊び場に(鶴の木) 4

発行所 東京都商店街振興組合連合会
 〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18
 電話 03-3542-0231~5
 FAX 03-3542-0236
 URL <http://www.toshinren.or.jp/>
 購読料 年間2,500円 [送料込み、会費を含む]

都商店街実態調査

後継者不足なお デジタル化に進歩も

東京都が3年に1度のほど公表された。実施する「東京都商店街実態調査」の2022年度版報告書が、この調べるもので、引き続い

東京都が3年に1度のほど公表された。実施する「東京都商店街実態調査」の2022年度版報告書が、この調べるもので、引き続い



象となる商店街の数は、調査するごとに減少し、前年(2019年)の2447より73件少なかった。組織形態としては、振興組合や協同組合など

象となる商店街の数は、調査するごとに減少し、前年(2019年)の2447より73件少なかった。組織形態としては、振興組合や協同組合など

雨の止み間に凜と 葛飾・堀切菖蒲園

「堀切菖蒲園」(葛飾区)は、江戸花ショウブ約200種6000株を鑑賞できる人気スポットだ。梅雨に入り、すっきりしない天候が続く中、荒川にほど近い約8700平方メートルの広い園内には、見頃を迎えつつある紫、白の花ショウブを楽しむ人が多く訪れていた(写真)。

「堀切菖蒲園」(葛飾区)は、江戸花ショウブ約200種6000株を鑑賞できる人気スポットだ。梅雨に入り、すっきりしない天候が続く中、荒川にほど近い約8700平方メートルの広い園内には、見頃を迎えつつある紫、白の花ショウブを楽しむ人が多く訪れていた(写真)。



「堀切菖蒲園」(葛飾区)は、江戸花ショウブ約200種6000株を鑑賞できる人気スポットだ。梅雨に入り、すっきりしない天候が続く中、荒川にほど近い約8700平方メートルの広い園内には、見頃を迎えつつある紫、白の花ショウブを楽しむ人が多く訪れていた(写真)。

観光需要根付かせ 政府がアクションプラン

政府の観光立国推進閣僚会議は5月30日、「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」を決定した。これからは観光需要を「呼び込む」という観点で施策を積み上げ

政府の観光立国推進閣僚会議は5月30日、「新時代のインバウンド拡大アクションプラン」を決定した。これからは観光需要を「呼び込む」という観点で施策を積み上げ

てきたが、視野を広げ、生を積極的に受け入れたいとする。このほか文化芸術等の分野では、プロスポーツ団体によるスポーツイベントを活用した観光ツアーや競技体験、美術館や博物館の早朝・夜間を活用した特別体験、国立公園での少人数限定の宿泊体験など、コンテンツ提供が検討される。政府は、3月に観光

てきたが、視野を広げ、生を積極的に受け入れたいとする。このほか文化芸術等の分野では、プロスポーツ団体によるスポーツイベントを活用した観光ツアーや競技体験、美術館や博物館の早朝・夜間を活用した特別体験、国立公園での少人数限定の宿泊体験など、コンテンツ提供が検討される。政府は、3月に観光

どうするカスハラ

7月19日 公社、対策セミナー

商品やサービスを提供する企業に対し客が著しい迷惑行為をする「カスハラ」(カスハラ)の現状と対策のポイントを「カスハラに強い組織づくり」をテーマに、講師は中小企業診断士で産業カウンセラーでもある尾崎達彦氏が務める。参加方法はリアルとオンラインの2形式あり、内容は「何をされたら方で受講したい人はJR秋葉原駅から徒歩5分の会場、原宿から徒歩5分の会場、AP秋葉原(台東区)へ。定員は先着40人。オンラインで受講したい人はZoomウェビナーを使用する。問い合わせは公社の総合支援課(03-3251-7881)へ。

商品やサービスを提供する企業に対し客が著しい迷惑行為をする「カスハラ」(カスハラ)の現状と対策のポイントを「カスハラに強い組織づくり」をテーマに、講師は中小企業診断士で産業カウンセラーでもある尾崎達彦氏が務める。参加方法はリアルとオンラインの2形式あり、内容は「何をされたら方で受講したい人はJR秋葉原駅から徒歩5分の会場、原宿から徒歩5分の会場、AP秋葉原(台東区)へ。定員は先着40人。オンラインで受講したい人はZoomウェビナーを使用する。問い合わせは公社の総合支援課(03-3251-7881)へ。

観光白書も決定
 2023年版の観光白書が6月13日に閣議決定された。コロナ禍から回復に向かう世界となっており、日本の観光の動向を分析し、国の政策の方向性を報告した。白書によると、2022年6月に外国人観光客の受け入れ再開後、10月の水際措置緩和で訪日旅行者数が大きく増加。12月には2019年同月と比べ54%まで回復した。ただ2022年の年間ではまだ約3800万人

観光白書も決定
 2023年版の観光白書が6月13日に閣議決定された。コロナ禍から回復に向かう世界となっており、日本の観光の動向を分析し、国の政策の方向性を報告した。白書によると、2022年6月に外国人観光客の受け入れ再開後、10月の水際措置緩和で訪日旅行者数が大きく増加。12月には2019年同月と比べ54%まで回復した。ただ2022年の年間ではまだ約3800万人

各市区市振連・区市市連会員様

お願い
 商店街(会)の新聞送付先の変更(理事長・会長の交代など)があった場合は下記までご一報ください

東京都商店街振興組合連合会 広報課
 Fax: 03-3542-0236 または
 Mail: news@toshinren.or.jp

令和5年度 商店街ステップアップ応援事業

TOSHINREN-information

派遣費用 無料

たとえば 下記のような相談に対して 支援・アドバイスいたします

● 売上アップやにぎわい増につながるイベント
 ● 商店街の会計処理・補助金などの資金周り
 ● キャッシュレス・ホームページ導入などIT化
 ● 多言語化・おもてなしなどインバウンド対応
 ● 障がい者・高齢者用サイン表示や休憩スペースの設置
 ● 加入促進・若手の活躍など組織運営
 ● 商店街の中長期的なありかた・ビジョン
 ● 来街者に安心・安全な商店街づくり
 ● 地域と連携した、街の活性化への景観づくり
 ● 再エネ・省エネ

支援のながれ

お申し込み (WEBからダウンロード) → 事前打ち合わせ → 日程調整 専門家手配 → 専門家による 支援の実施

専門家の派遣は一つの相談に対して原則5回、最大10回までです。

随時受け付け中 → 東京都商店街振興組合連合会/ステップアップ事務局 ☎03-3547-3787